

潮見小学校は、小規模校であることをプラスにとらえ、小規模校だからこそできることやそのメリットを生かし、「小さいからこそキラリと輝いている学校」を合言葉にして積極的な教育活動を推進しています。



▲「スクールミーティング」の様子  
(松川禮子岐阜県教育長の学校訪問)

### 1. 「少人数のよさを生かす」

#### 一人一人の見届けができるきめ細かい学習指導

本校は、全校児童数10名、複式3学級という小規模校です。この少人数のよさを生かし、一人一人の実態を的確につかみ、それに応じたていねいな指導を行っています。

また、授業での表現活動にも力を入れています。少人数だから何度でも発言・発表の機会があり、発言の内容や態度を確実に見届けることができるメリットがあります。小規模校では、集団にもまれることなく社会性が育たない・子ども同士がなれ合いになってしまい、コミュニケーション能力が育たないのでは、と心配されることがあり、本校では、小集団だからこそできる活動を仕組み、このコミュニケーション力を育成し、社会性を育てています。

### 2. 「異年齢集団での学びのよさを生かす」

#### 一人一人のやりがいや責任感を育む指導

本校は、日常的に異年齢の子どもが関わる機会が多くあります。異年齢活動の中で、上級生は下級生の模範役となります。そして後輩の姿を見て、これまでの自分自身の歩みを振り返り、自身の成長を実感することができます。また、下級生は先輩の姿を見てあこがれ、未来の自分の姿を描くことができます。

本校の集会活動は、子どもたちによって自主的に運営されています。集会は「話す」「聞く」のコミュニケーション力を鍛える大切な場でもあり、どの子どもも発達段階に応じた役割を任されています。本校の子どもたちは、「自分がやらなければならない」という責任感をもって取り組んでいます。

本校では、特色ある活動の一環として全校で一輪車の取組を行っています。この一輪車の取組は、



▲運動会での一輪車演技

単に一輪車の技能の習得だけでなく、目標を達成するために粘り強く取り組む姿勢や全校で協力して創り上げることの大切さを学ぶ場になっています。また、本物に触れるということと専門の講師の先生

から直接学んでいます。なお、今年度は、他校と一輪車の交流をして取組の意欲を一層高めています。

### 3. 「地域のよさを生かす」

#### 地域を知り、地域で学び、地域を誇りに思う指導

校区や八百津町では地域のよさを身近に実感できる体験学習ができます。子どもたちはこうした体験を通して地域の文化・自然のすばらしさを再認識し、地域に誇りをもつことができます。



▲ふるさと体験学習の様子

中でも本校では、総合的な学習や生活科等の学習の中で、「山びこ活動」として全員が「ふるさと潮南」の歴史・文化・自然をテーマとして「調べ学習」を行っています。調べたことを学期ごとに、テーマ発表・中間発表・まとめの発表として全校児童に伝える活動を行っています。ここでも発達段階に応じて「話す」「聞く」指導を重視し、それらの力の育成を図っています。仲間の発言には「こだま」のように必ず何か意見を返すことを徹底して指導しています。この取組の結果、進んで意見を言える児童が育っています。1年生も6年生の発表を聞いて感想を述べています。また、一人一人が自分のテーマをもち、一年間を通して「調べ学習」を行うことによって、子どもたちは、主体的にふるさとについて学び、ふるさとのよさに気づき、愛着や誇りをもつようになります。

また、子どもの社会性を育てるため地域の方や保育園、各小中学校との交流も大切にしています。地域の社会福祉施設との交流やお年寄りの方との交流を続けています。年間を通して施設を訪問したり、本校での交流をしたりしています。こういった方との交流によって他者を思う心や接し方についても学んでいます。

このように地域での直接的な学びや体験を地域への愛着や誇りにつなげています。



▲保育園との交流の様子

### 4. おわりに

このように潮見小学校では一人一人が自分の学びに自信を持ち、ふるさとに愛着や誇りを感じ、将来への夢の実現に向かって真剣に学んでいます。これからも、小さいからこそできる指導を追究し、「キラリ」と輝いている児童や学校を目指していきます。

